

事務局だより

発 務 局 ▶ 公益社団法人新潟県社会福祉士会
〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2
新潟ユニゾンプラザ3F
T E L ▶ 025-281-5502
F A X ▶ 025-251-5504
メ ー ル ▶ njacsw@poplar.ocn.ne.jp
ホームページ ▶ <https://csw-niigata.com/>
Facebook ▶ <https://www.facebook.com/cswniigata/>

2022(令和4)年度 第4号 2022年10月1日発行

Contents

総会議決権行使書での自由記載アンケート 集計結果	2
3つのグループの「自主活動支援制度」利用登録申請を承認しました	3
各種研修報告 <small>(成年後見人材育成研修、ナラティヴ・アプローチ研修、定着支援センター研修など)</small>	4
各部門からのお知らせ <small>(実習指導者講習会、認証研修(障害)、連続読書勉強会など)</small>	8
【求人】新潟県地域生活定着支援センター相談員 <small>(嘱託職員)</small>	10
会員のみなさまへ <small>(各種ご案内、ご連絡事項)</small>	11
会のスケジュール	12

○入会状況 (2022年9月1日現在)

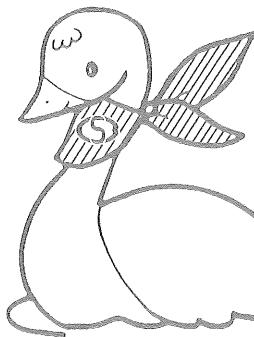
正会員数：1,307人

◇日本社会福祉士会のe-ラーニング講座

e-ラーニングは、研修を受けたい会員が自身の都合に合わせて研修を受講(聴講)することができるもので、多くのコンテンツ(講座)が配信されています。

このe-ラーニングについては、運営経費の一部を負担している都道府県社会福祉士会の正会員は多くのコンテンツを無料で受講できることとなっています。新潟県社会福祉士会の正会員の方は、多くを無料で視聴できますので、ぜひ、みなさまの学びにご活用ください。

<https://jacsw.informationstar.jp/>



総会議決権行使書での自由記載アンケート「どのような活動や研修があつたら参加したいか？」へのご協力、ありがとうございました。

今年6月18日開催の会員定時総会時、「議決権行使書（ハガキ）」に、自由記載欄「どのような活動や研修があつたら参加したいか？」を設けさせていただきました。記入いただきました会員のみなさま、ありがとうございました。

このたび、記入いただいた内容を以下のとおりまとめましたので、会員のみなさまにご報告させていただきます。いただいた回答は内部役員間で共有し、担当理事を通じて各部門での活動内容を検討する際に参考とさせていただきます。

2022.6.18総会議決権行使書自由記載欄「どのような活動や研修があつたら参加したいか？」集計結果

1. 回答数（記述があった議決権行使書枚数） **77**

2. 大項目分類／大項目を以下のA～Dで設定し、回答を分類／重複カウントあり

大項目	回答数
A. 研修のテーマ・内容に関する希望	51
B. 研修の実施方法に関する希望	18
C. 会員同士の交流に関する希望	16
D. その他の活動	6

3. 記述内容分類 個々の回答（記述内容）をカテゴリー別に分類／重複カウントあり

* 実際に記述いただいた個々の回答内容は、一覧にして当会ホームページにも掲載しています。ぜひご覧ください。

A. 研修のテーマ・内容に関する希望	記述数
①ソーシャルワーク理論や技法を希望する回答	5
②地域づくりに関する内容を希望する回答	6
③権利擁護（成年後見、虐待対応）に関する内容を希望する回答	7
④人材育成や実習指導に関する内容を希望する回答	5
⑤サービス管理・経営に関する内容を希望する回答	2
⑥児童や家庭への支援に関する内容を希望する回答	8
⑦その他、研修テーマに関する回答	16
B. 研修の実施方法に関する希望	記述数
①ICT活用を希望する回答	7
②対面実施を希望する回答	2
③実践の共有（実践報告等）を希望する回答	4
④時間や曜日に関する希望	2
⑤他団体との連携を希望する回答	2
⑥その他	2
C. 会員同士の交流に関する希望	16
D. その他の活動	6

以下のグループの自主活動支援制度利用登録申請を承認しました

2022年度の「自主活動支援制度」利用登録申請のあった下記のグループ（団体）について、利用登録を承認しましたのでご報告します。

* 「自主活動支援制度」については、当会ホームページ・会員専用ページ（事務手続き関係）にガイドライン等を掲載しています。

団体名	ソーシャルワークサポートネットワーク		
代表者	伊藤 裕輔（会員番号 49727）	構成員数	6名（うち、新潟県社会福祉士会会員 5名）
発足時期	2016年10月	主な活動地域	下越圏域
団体の趣旨	①社会福祉士としての専門性の向上と実践力を身に付ける ②開催場所を限定せずに社会福祉士としての啓発や社会的認知度の向上を図る		
活動概要	当学習会は2016年に発足。日々の業務で感じている問題意識をテーマに新発田市・村上市・阿賀町・新潟市でこれまでに計9回学習会を開催し、300人を超える参加者と一緒に学びを深めてきた。対象者は主に社会福祉士と、社会福祉士を目指している人としている。 ここ数年は新型コロナウイルスの影響で活動を休止していたが、感染状況を確認しながら集合型の学習会の開催を目指して企画している。		
利用登録番号	2022-1号	助成金申請	あり（上限40,000円）

団体名	小さなソーシャルワーク学習会		
代表者	入江 いづみ（会員番号 48780）	構成員数	15名（うち、新潟県社会福祉士会会員 11名）
発足時期	2019年9月	主な活動地域	阿賀北地域
団体の趣旨	①ソーシャルワーカーとしての専門性を高める ②それぞれの職場や地域でソーシャルワークを発揮できる学習会の実施 ③できることから、ソーシャルアクションを提案・実践していく		
活動概要	当学習会は、新潟県社会福祉士会の自主活動支援制度利用団体「ソーシャルサポートネットワーク」を通じて知り合った社会福祉士4名を中心として、参加者同士で深い意見交換ができるよう15名程度のメンバーで活動。村上市、新発田市、胎内市、阿賀町、阿賀野市、新潟市の医療機関・福祉施設等に勤務している社会福祉士がメンバーとなっている。 令和1～2年度は、新潟医療福祉大学が発行しているブックレットを使用して学習会を実施。令和3年度は書籍「ソーシャルワークにおける権利擁護とは何か」の著者・日田剛氏（九州保健福祉大学）と広島県立大学の志賀准教授と共に、オンラインで5回の学習会を実施した。令和4年度は新潟大学の中村健准教授と、貧困・生活保護に関して学習会を開催する予定。		
利用登録番号	2022-2号	助成金申請	あり（上限40,000円）

団体名	後見人の会 ひとの和		
代表者	藤田 健男（会員番号 20493）	構成員数	5名（うち、新潟県社会福祉士会会員 4名）
発足時期	2022年9月	主な活動地域	上越市
団体の趣旨	上越市頸北地域のインフォーマル資源の開発に向けて、弁護士、司法書士、行政書士、医療食など垣根を越えて、異業種間で学び合う。		
活動概要	令和4年度は、共通の文献の抽出と読み合わせ、情報交換を紙面上、または会報上で行う。 次年度は、弁護士、司法書士、行政書士から講師を派遣して頂き、成年後見制度、倫理、質の向上のための学び合いを行う。		
利用登録番号	2022-3号	助成金申請	なし

→次ページで、「後見人の会 ひとの和」の会員募集について掲載しています。ぜひご覧ください。

（自主活動支援制度では、利用登録団体のメンバー募集も支援しています）

上越市は、平成17年1月に当時全国最多の14市町村で合併をし、山間部や高齢化率が著しい地域が多くあります。そのため、地域で活動する後見人にとっては、人々の大切な住居の管理や人々の生活を支えるには、後見人やケアマネージャー、福祉職のみでは支えられず、家電屋、建築業、小売店など身近な方の協力が必要です。後見人の持つネットワークが貧弱であれば、クライエントの生活を支援者の都合に当てはめてしまうこともあります。そのようなことを回避するために、郷土の人々と協力することが何より大切です。インフォーマルな資源のシェアリングと開発を目指して、まずは、弁護士、司法書士、行政書士、医療職など専門職の垣根を越えて共に学び合い、支え合うことが必要であると考えました。

コロナ禍で行動制限がされる中で、共通文献での読み合わせ、意見交換からはじめ、いざれば異業種の講師などを招き、学び合います。地域の人々を支える高い倫理性と質の向上を目指して取り組みます。『人々の選好の最大限の解釈』を目指せる、多様な資源づくりに向けて和をつくりましょう。

私の住む頸北地域にも、今でも使用されている隧道が残っています。隧道を切り開くための古の人々の思いはどの様なものだったのでしょう。日本は、度重なる災害に見舞われております。新道が寸断された際、隧道を歩き、他の地域から食料と水を担ぎ、独歩で真っ先に駆けつけて下さる方に感謝しています。隧道の暗闇を越えた奥に広がるその地域特有の豊かな緑が私は好きです。一人一人の隧道を切り開いてきた思いを聞かせて頂きたいのです。多様な入口から入れば、視野は明るく広がります。興味がありましたら、ご参加お願い致します。



尾神隧道

「後見人の会 ひとの和」代表 藤田 健男

電話 : 025-539-2490

メール : fukushi@orange.plala.or.jp

* 「後見人の会 ひとの和」への活動を希望する方・関心のある方は、上記代表者までお問合せください。

成年後見人材育成研修・全4日間が終了。31名が修了しました。

6月26日からスタートした今年度の成年後見人材育成研修。9月3日に最終日を迎えて、受講者31名全員がひとりも欠けることなく、全4日間の日程を終えました。

1日目～3日目はオンライン、最後の4日目は演習と修了試験があることからユニゾンプラザでの集合型で予定していましたが、新型コロナウィルス感染の再拡大を受け、4日目も急遽オンラインへと変更しての実施となりました。前回もオンライン実施をしていたため、Zoomのブレイクアウトルーム機能を使った演習、Googleフォームを活用した修了試験もスムーズに実施でき、受講者アンケートでは「ZOOMで良かったです。周りに感染者が増えており、対面での研修だったら不安でした」「遠方のため研修に参加する場合、時間帯・会場等によっては宿泊が必要になる場合がある。準備に費用・時間等の負担がかかるところ急な対応を含めリモート研修の開催ありがとうございました」とのご意見をいただいた一方、「一日の講義内容が重く、ついていくのがやっとだったが、zoom研修のため相談する相手がいなかった」「集合研修ができず残念でした。リモートだと講師の方々の成年後見人のとしての姿の感じにくさがあり、自身が活動する際には皆さまの熱意に近づくまでに少し時間がかかってしまうかもしれませんと感じました」との意見もありました。専門職後見人をはじめとする支援者には常に高い倫理観と自律性、継続的な研鑽が求められます。自身の支援の質やモチベーションを担保していくためにも情報交換や意見交換を行える仲間とのつながりを持つことの重要性を改めて感じました（特に今回の受講者には、基礎研修もオンラインになってしまった方も多いかったんですよね…）。

縦に長く離島もあるという新潟県の地理的状況の中で、利便性の高いオンラインでの研修とあわせて、会員同士が直接顔を合わせて学び合い交流し合う機会も確保していきたいと思います。

(担当 : 権利擁護センターばあとなあ新潟本部運営委員会)

高齢者支援班・中越地区勉強会 報告

2022年7月30日（土）、高齢者支援班・中越地区勉強会「地域包括ケアにおける社会福祉士の役割～「コロナ禍」でも忘れない社会福祉士の志とは？～」をオンライン（Zoomミーティング）で開催しました。

今回は、「コロナ禍」において各分野で活動している社会福祉士達の実践報告を通して、抱えている悩みや苦労したことなどから、一見社会福祉士の倫理と反するのではないかと自問自答しながらも、その中でも、社会福祉士として大切にしていたこと、忘れないでいたことを共有し、改めて、我々は、どのように思考し行動すべきかを考える機会といたしました。県内だけでなく、当会のホームページを見て、テーマに興味があり県外から参加された方、医療や福祉以外の分野で、施策や制度等に携わる立場の方の参加もあり、活発な意見交換がなされました。限られた時間の中でしたし、zoomという対面でない形での勉強会でしたが、最後に参加者全員より感想だけでなく、自身が感じていることなども含めてひと言ずつお話ししていただきました。「〇〇だからできない」ではなく、「〇〇だけれども、どう工夫してやろうか」「この逆境を逆転の発想で考えよう」をモットーに計画・実施した勉強会でした。

（報告：高齢者支援班中越地区委員 松浦正子）

7/29、ナラティヴ・アプローチについて学びました

2022年7月29日（金）、虐待対応研修「ナラティヴ・アプローチ虐待対応における養護者との対話への活用」をオンライン（Zoomミーティング）で開催しました。

この研修会は開催を案内した直後から反響が大きく、最終的には76名という多くの方から参加していただき、虐待対応現場で生かせる実践的なアプローチを求められていることが窺い知れました。

当日は、荒井浩道先生（駒澤大学駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻教授、社会福祉士）よりナラティヴ・アプローチについてリモートで講演していただき、講義とグループワークを繰り返しながら理解を深める形式で進行しました。私たちソーシャルワーカーなどの相談援助専門職は“助言指導しなければならない”という先入観が形成されやすいことを再確認して、ナラティヴ・アプローチとは「助言指導せず、クライエントこそがクライエントの専門家であるとの認識で、その語りを引き出してゆく」技術であることをみんなで理解しました。午後の4時間近い研修会でしたが、参加者は講義を聞き・生き生きとグループワークに参加して語りを聞きあい・理解を深めて、その充実した参加者の表情がとても印象的でした。

虐待とは様々な要因の累積の上に生じる事象なので、当事者や養護者を理解は極めて重要であり、ナラティヴ・アプローチを頼もしい手法に感じた研修会でした。

（報告者：虐待対応委員会担当理事 古澤圭）

定着支援センター研修 「加害行為に至った障害者の地域生活を支援するために～障害福祉サービス事業に関する加算について～」 報告

2022年8月22日（月）、オンラインで標記研修を開催しました。

医療観察法対象者や強制施設等を退所した障害等がある方の支援について学びを深め、考える大変良い機会となりました。

新潟保護観察所の中山統括社会復帰調整官からは医療観察法の概要をご講義いただき、その後、新潟県福祉保健部障害福祉課自立支援係の土屋主任から「地域生活移行個別支援特別加算」「社会生活支援特別加算」についてのご講義をいただきました。地域生活定着支援センターに関しては、みなさまに実践動画を見ていただき、その後グループワークで感想や日々感じる不安や疑問等を共有していただきました。

この数年で受け入れ施設の数は大きく増えましたが、各施設同士の横の繋がりが作れず、また受け入れたことのない施設が、実際の受け入れ施設の声を聞く機会もあまりなかったため、講師、参加者共に「グループワークで意見交換ができるよかったです。」「情報交換ができる大変勉強になった。」という声をたくさんいただきました。私たちも貴重な時間であったと感じており、今後も継続したいと考えております。加害行為を犯してしまった方への支援に不安を感じることは当然だと思いますが、その不安を互いに話したり、軽減することができれば幸いです。今回は定員を上回る方にご参加いただき、こんなにもたくさんの方に支えられていることを改めて感じることができました。ご参加いただきましたみなさま、ありがとうございました。

（報告者：新潟県地域生活定着支援センター 主任相談員 平栗華代）

9/7、福祉関係者のための権利擁護・成年後見講座【基礎編】報告

2022年9月7日（水）、「福祉関係者のための権利擁護・成年後見講座【基礎編】」をオンライン（Zoomミーティング）で開催しました（運営担当：ぱあとなあ新潟本部運営委員会）。

本研修は、これまで「福祉関係者のための成年後見活用講座」として実施していたものですが、昨今の成年後見制度を巡る状況・動向をふまえ、成年後見制度利用促進基本計画でも推進されている地域における権利擁護ネットワークの中で、成年後見制度だけでなく、各種の権利擁護支援制度をより良く活用していただけるように、という思いのもとプログラム内容と名称の見直しを行いました。

2021年度はこの見直しのため旧講座の実施も見送り、今回が見直し後はじめての開講となりました。基礎編はオンライン（Zoomミーティング）で実施とし、大変ありがたいことに100名近い方からご参加いただきました。

新講座では、成年後見制度の歴史や概要を伝える「成年後見制度の概要」の課目、社会福祉協議会の「日常生活自立支援事業」の課目は旧講座から引き続き実施。利用者の希望や状況に応じて本人の意思や意向を尊重するには、各種権利擁護支援制度を知り、どの制度が適しているのか、選択肢を増やして検討していただくことが必要だと考え、新たに、「成年後見制度利用促進基本計画」についての説明項目、「任意後見制度」「信託制度」を学ぶ課目を追加しました。

各課目の講師は、「成年後見利用促進基本計画に係る意見交換会（新潟県主催、年3回開催）」でぱあとなあ新潟とともにメンバーとなっている、県高齢福祉保健課、県社会福祉協議会、県弁護士会、リーガルサポート新潟県支部、新潟家庭裁判所から推薦をお願いしました。

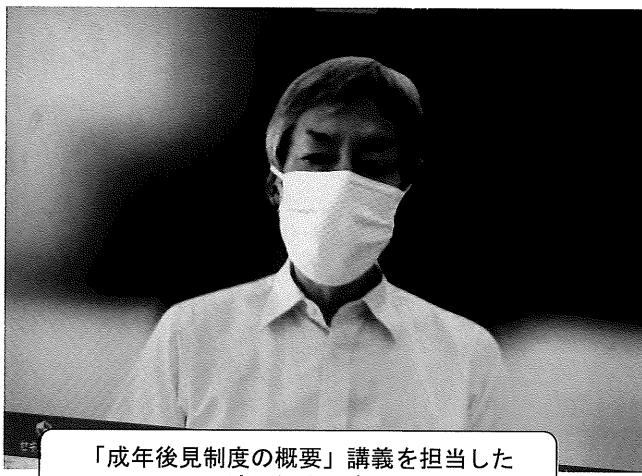
今回の基礎編では、県高齢福祉保健課の土田主査から利用促進基本計画についてご説明いただきました。県社会福祉協議会・企画広報課の佐藤主任から日常生活自立支援事業について、加澤正樹弁護士から任意後見制度について、関武司法書士から信託制度についてご講義いただきました。「成年後見制度の概要」の課目は、ぱあとなあ新潟の渡辺信也理事が担当しました。

各関係機関、専門職からの講義では、福祉関係者のみなさまに知りたいこと、お願いしたいことも含めて、各制度の概要をわかりやすく伝えていただきました。

【基礎編・参加者アンケートより】

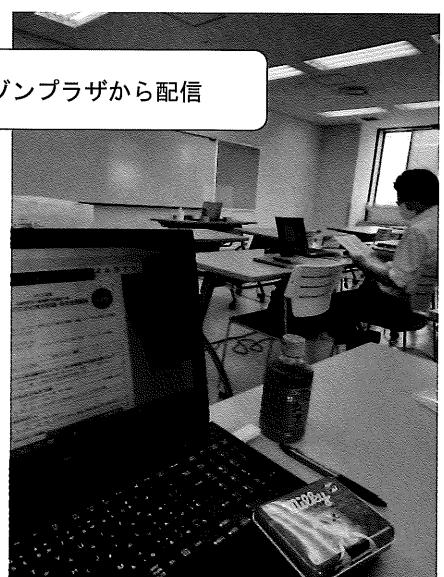
- ・任意後見制度や信託制度はよく知らなかつたのでとても参考になった。
- ・成年後見制度も日常生活自立支援事業も本人の意思決定の支援ということが印象的だった。
- ・全ての講義を通して「自己決定の尊重」が重要であることを学ぶことができた。また、「最善の選択ができる支援」というお話を共感できた。
- ・法定後見や日自などは支援方針模索のために検討することが多いが、信託制度は知識が全くなかった。本日の研修をきっかけに、信託制度のことを少しずつ理解していきたい。
- ・権利擁護や成年後見制度について関係者が正しい知識を持つ大切さや、意思決定支援の選択肢として信託制度が利用できるとの話を聞かせて頂け受講できて良かったと思いました。
- ・任意後見制度や信託制度を適切に使うことで、本人意思や家族の気持ちにも配慮された自己決定を行い易くなると感じた。一方で、制度の仕組みや弱点や性質を理解したり、積極的に制度に関わる（理解しようとする）姿勢を持たなければ、かえって自己決定が行きづらくなるという側面もあることを学んだ。
- ・今回の研修では、本人の意思を尊重することの大切さを学びました。本人にとって、本当に成年後見人が必要なのか、見極めて支援をしていく必要があるのだと感じました。

10月3日には集合型で「実践編」を実施予定です。実践編では、新潟家庭裁判所の西村主任書記官から成年後見制度の動向をお聞きするとともに、リーガルサポート新潟県支部の帶瀬支部長から法定後見の実務について学びます。また、権利擁護支援検討の演習を行う予定です。



「成年後見制度の概要」講義を担当した
渡辺信也理事

研修はユニゾンプラザから配信



定着支援センター研修 2022年度司法福祉研修会「児童・少年の非行と呼ばれる行動の背景とその対応について」報告

2022年8月30日（火）、に新潟トラブルシューターネットワークとの共催により、オンライン（Zoomミーティング）で標記研修を開催しました。

当会の渡辺陽一会長が開催挨拶として司法福祉を巡る情勢と趣旨を説明したのち、新潟県地域生活定着支援センターの本多センター長より、センターの取組について説明しました。

続いて講演会として、少年刑務所・鑑別所・矯正管区長などを歴任し長年少年たちの立ち直りを支援し続けてきた小林万洋（こばやし かずひろ）長野大学社会福祉学部教授をお迎えし、「少年矯正の実務から見た人間形成の根底とその支援」と題して、1時間半にわたりご講演をいただきました。

犯罪の増加や凶悪化が叫ばれる少年犯罪の傾向の変化や、少年非行の背景となる心理的な分析などに関する説明からはじまり、「なぜ非行をしたのか？」よりも「何のために非行をしているのか？」を考えて、本人が本当に得たいものを一緒に得る方法を考えていくことが大切であるという説明をいただきました。これは、代替性や役割の有効性につながることであり、もっともであると腑に落ちました。

最後に、新潟県地域生活定着支援センターも参加している「新潟トラブルシューターネットワーク」代表の小出薰弁護士より、閉会の挨拶として、成果会社の立ち直りを支援するプログラムへの取り組みや、支援者自身への研修の取り組みなどについて紹介いただきました。加害者支援には地域の理解が得られにくくなどの難しさがある中で、支援者が孤立しないためにも、話し合い学び合う横のつながりは大切であると感じました。

10月28日には、新潟トラブルシューターネットワークの主催による「18歳の壁」をテーマとした勉強会とケース検討を予定しています。新潟県社会福祉士会のホームページでもご安和していますので、ぜひご参加ください。

（報告者：新潟県地域生活定着支援センター 主任相談員 坂井賢）



ぱあとなあ新潟 各地区研修報告

■下越地区

令和4年8月20日（土）新発田市ボランティアセンターにて、今年度第2回のぱあとなあ新潟・下越地区研修を実施。参加者9名。

【地区委員からの連絡事項・情報提供】

- 定期活動報告書の提出について

8月31日までに事務局へ提出すること。詳細「ぱあとなあ通信8月号」

- 成年後見制度における民法改正について

法務省が見直しに向けて検討を始めた。原則、利用を始めると、途中でやめることや後見人を替えることができないのを、必要な時だけに使えるようにするほか、後見人を柔軟に交代できるようになる見込み。

2026年度までに民法改正案をまとめ、国会提出をおこなうもよう。成年後見のニーズは高まっているはずだが、利用は伸び悩んでいるため、必要とする人が利用しやすい仕組みへの転換を期待したい。

【後見等活動報告・情報交換】

出席した皆さんから、日ごろの後見活動等について報告をしていただき、その中で、3名の会員より今年7月からはじめて1件ずつ受任したとの話があった。これから後の後見業務をおこなっていくうえでの疑問点（家庭裁判所初回報告、成年後見制度利用支援事業助成申請時期やタイミング、被後見人死後の郵便物送付先、相続人との連絡方法や引継ぎ方法など）について、他出席者から様々な意見やアドバイスをもらい、新たに受任された方々の課題解消に向けて情報交換を行うことができた。

その他、コロナウィルス感染症による後見業務の影響についてや、医療同意についても出席者で意見交換を行った。次回開催は、11月19日（土）10:00を予定とした。

（報告者：下越地区運営委員 竹前亮太郎、齋藤哲英）

各部門からのお知らせ

高齢者支援班

下越地区勉強会は10/29に「葛藤」をテーマに実施します

相談援助は知識や技術、経験等を用いてクライエント中心に展開されます。また、相談援助は自らをツール（道具）として実践します。個別ケースの実践や組織内での協働場面、人材育成などあらゆる場面で「葛藤」を感じることはありませんか？葛藤は時としてプラス面にもマイナス面にも作用します。改めて自分自身の、また組織や同僚が抱える葛藤について考え、『葛藤についての枠組み』について一緒に学んでみませんか。

【日時】2022年10月29日（土）14時～16時30分

【方法】オンライン（Zoomミーティング）

【講師】林 正海さん（株式会社あしたの森 社会福祉士）

【申込】受付中です。新潟県社会福祉士会ホームページをご覧ください

<https://csw-niigata.com/study/4321>

生活支援班

「地域福祉」をテーマとした連続読書勉強会を10月から開始します

メゾとかマクロって視点がこれからの社会福祉士には求められていて、そんな中で地域包括ケアシステムとか重層的支援体制整備事業が始まっているけど地域づくりってどうやるの？誰がやるの？社会福祉士は何をすればいいの？きっと誰かがやるんでしょう？

「生活支援班」では、一冊の書籍を通してそんなモヤモヤをみんなで一緒に勉強する会を企画しました。2022年10月から2023年2月まで、全4回、オンライン（Zoomミーティング）で開催。関心のある方はどなたでも・4回全部でも1回からでも参加OK。

詳細は、今回同封のチラシまたは新潟県社会福祉士会ホームページをご覧ください。

<https://csw-niigata.com/study/4459>

「今さら聞けないひきこもり支援のこと」、11/23にやります！

7/31開催予定でしたが新型コロナ感染拡大により中止・延期といたしました研修会「今さら聞けないひきこもり支援のこと」を、下記の通り改めて実施することといたしました。ぜひ、みなさまから改めてご参加いただければ幸いです。申し込み方法等の詳細は今回同封のチラシをご覧ください。

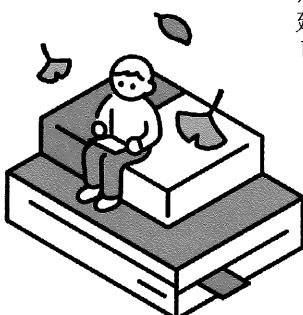
【日時】2022年11月23日（水・祝）13時～16時

【会場】新潟ユニゾンプラザ 4階「大研修室」 *集合型での実施です。

【申込】受付中です。今回同封のチラシ、または新潟県社会福祉士会ホームページをご覧ください。

<https://csw-niigata.com/study/3762>

*誠に恐れ入りますが、7月開催予定時にお申込みいただきました方におかれましても、このたびの再々延期分（11/23）の研修ご参加にあたっては、改めてフォームからお申込みいただきますようお願いいたします。



障害者支援班

2022年度 障害者の生活支援研修(認定社会福祉士認証研修)

【日時】2022年12月10日（土）～12月11日（日）

【会場】新潟ユニゾンプラザ（新潟市中央区上所2-2-2）

※集合型の研修として実施予定です。

【研修単位】認定社会福祉士の研修単位として以下の単位を取得できます。

研修認証番号：20180001

研修単位：1単位

科目名：対象者別科目

科目的区分：分野専門（障害分野）

科目的群：対象者別科目群

詳細は、今回同封の開催要項、または新潟県社会福祉士会ホームページをご覧ください。

人材育成・SV支援班

2022年度 社会福祉士実習指導者講習会

実施予定日：2023年2月10日（金）～2月12日（日）

実施方法：オンライン（Zoomミーティング）

開催要項・申込方法等は後日、新潟県社会福祉士会ホームページに掲載します。受講をご希望の方は、当会ホームページを隨時ご確認ください。

実習指導者フォローアップ研修

2022年10月12日（水）、実習指導者同士の意見・情報交換を重点に開催します。
9月28日現在、41名の方からお申込みいただいています。ありがとうございます！

ぱあとな あ新潟

「名簿登録研修」を11月5日（土）～6日（日）に開催します

成年後見人材育成研修を修了後、ぱあとなあ新潟の成年後見人等候補者として活動を希望する場合は、この「名簿登録研修」を修了することが必須となります。2022年度の成年後見人材育成研修を修了された方のほか、2021年度までの成年後見人材育成研修（または成年後見人養成研修）を修了後、名簿登録研修（または初任者研修）を未修了の方で後見人等候補者として活動を希望する方は受講をお願いいたします。

現在すでにぱあとなあ新潟の名簿登録をしている方（名簿登録者）、または、過去に初任者研修または名簿登録研修を修了済みでまだ名簿登録をしていない方の再学習としてもご参加いただけます。

詳細は新潟県社会福祉士会ホームページ・会員専用ページ（ぱあとなあ新潟）をご覧いただきか、事務局までお問い合わせください。

災害
支援班

昨年度に引き続き、BCP策定に関する研修を2月に実施予定です

昨年度好評をいただいた、BCP策定に関する研修会（入所施設編）。

講師を担ってくださった後藤至功先生（佛教大学）に引き続きご協力いただき、2023年2月に研修を実施予定です。

詳細が決まりましたら改めて会員のみなさまにご案内いたします。

法人
研修班

対人援助スキルアップセミナー企画中！

2023年1月中旬以降に対人援助スキルアップセミナーの実施を企画しています。

現時点では「ナラティヴ・アプローチを学ぶ」、そして「クライシスプランを知る（プランの概要、活用例）」をテーマとして検討しています。

詳細が決まりましたら改めて会員のみなさまにご案内いたします。

ソーシャルワーカーデーにいがた2023 企画・実行メンバー募集

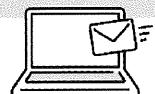
来年度の「ソーシャルワーカーデーにいがた2023」と一緒に作っていってくださるメンバーを募集します！

詳細は同封のチラシをご覧ください。

【求人】2023年度 新潟県地域生活定着支援センター相談員（嘱託職員）

事業所名	公益社団法人 新潟県社会福祉士会
所在地	新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階
職種	新潟県地域生活定着支援センター相談員（嘱託職員）
仕事内容	福祉的な支援を必要とする矯正施設退所予定者の社会復帰の支援をしていただきます。矯正施設内で対象者と面接し、退所後に必要となる福祉サービスの聞き取りを行い、受入先施設のあっせんや福祉サービスに係る申請支援などを行っていただきます。
雇用期間	2023年4月1日～2024年3月31日（延長の可能性あり） ※雇用開始日を3ヶ月程度早めることは可能です。応相談。
就業時間	8時30分～17時30分（休憩60分）
休日等	土日祝日および年末年始（12/29～1/3）※年間数日、土日祝の出勤あり
要件	・社会福祉士、または精神保健福祉士資格 ・普通自動車運転免許 ※業務上、車を使用する機会は非常に多いです。社有車あり。
賃金	・基本給：日給8,800円～10,400円 ・資格手当：月10,000円 ・通勤手当：あり（実費支給、月額上限28,000円） ・賞与：あり
その他	雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金加入
連絡先	（公社）新潟県社会福祉士会 事務局（担当：田崎、齋藤）TEL:025-281-5502

会員のみなさまへ（各種お知らせ、お願ひ）



■メールアドレスのご登録をお願いいたします

当会では、メールアドレスをお知らせいただいている会員のみなさまへ、研修案内やホームページ更新情報など会からのお知らせやご連絡事項を、随時電子メールで配信しております。

新たに電子メールでのお知らせを受け取りたい方、メールアドレスを変更したい方は、下記の通りメールアドレスのご登録をお願いいたします。

【メールアドレスご登録（変更）方法】

njacsw@poplar.ocn.ne.jp へ、登録したいメールアドレスからメールをお送りください。その際、メール本文にて氏名・会員番号をお知らせいただき、メールの件名は「メールアドレス登録希望」としてください。

■ご住所・お名前・ご勤務先等の変更が生じたら

お名前やご自宅のご住所、ご勤務先の変更が生じた場合は、新潟県社会福祉士会事務局までご連絡をお願いいたします。

特に、ご自宅住所が変わられた場合、変更の届け出がないと当会や日本社会福祉士会からの送付物が届かなくなってしまいます（事務局だより等の発送は、主にヤマト運輸のメール便を使用しているため、郵便局への転居届による転送の対象外となります）。

お名前・ご自宅住所・勤務先が変更になった場合、以下の点にご注意の上ご連絡ください。

お名前が変更になった場合	<ul style="list-style-type: none">現在登録されているお名前と変更後のお名前年会費振替口座で口座名義の変更の有無（変更前の場合変更後にも一度ご連絡ください）
ご自宅住所が変更になった場合	<ul style="list-style-type: none">新しいご住所（郵便番号もあるとよりありがたいです）固定電話をお使いの場合、住所変更後に番号の変更があるか
ご勤務先が変更になった場合	<ul style="list-style-type: none">新しいご勤務先、勤務先住所、電話番号

ホームページの「お問い合わせフォーム」からのご連絡でも結構です（会員登録した内容に変更がある場合、「お問い合わせフォーム」よりお問い合わせ内容の欄に、変更する項目をご記入のうえ、送信してください）。

■最近当会に届いた刊行物

・民事法研究会

「実践成年後見No.100（特集：第二期基本計画が進むいま、将来を展望する）」

・一般社団法人 日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会

「聴覚サポート「なかま」（全国聴覚障害者相談支援事業聴覚サポートなかま事業報告書）」（令和4年4月）

・一般社団法人 全国自死遺族連絡会

「自死と向き合い、遺族とともに歩む～法律・政策一社会的偏見の克服に向けて～」

・全社協

「月刊福祉9月号（特集：福祉における生産性とは）」

「月刊福祉10月号（特集：農福連携－持続可能な地域をつくる）」



*その他、定期購読している「福祉新聞」（週間）、各都道府県社会福祉士会が定期発行している広報紙、福島県避難者支援団体へ送付される福島県の新聞「福島民友」「福島民報」などがあります。いずれも、事務局でいつでも閲覧可能です。

■新着図書 会事務局の本棚に以下の図書を新しく入れました

「新版 社会福祉士実習指導者テキスト」（日本社会福祉士会編、中央法規出版、2022年4月発行）*実習指導者講習会テキスト

「社会を動かすマクロソーシャルワークの理論と実践」（日本社会福祉士会編、中央法規出版、2021年11月発行）

「地域福祉ガバナンスをつくる」（原田正樹・藤井博志・渋谷篤男編、全国社会福祉協議会、2020年7月）*連続読書勉強会指定図書

「避難と支援－埼玉県における広域避難者支援のローカルガバナンス」（西城戸誠、原田峻 著、新泉社、2019年2月）*寄贈図書

会のスケジュール

※2022年9月25日現在の予定です。日時、会場等は変更になる場合があります。
※新型コロナウイルス感染症の状況等を鑑み、中止・延期となる場合があります。

当会ホームページに年間予定カレンダーを掲載し、随時更新しています。 <https://csw-niigata.com/>
(HOME>当会について>会の概要>年間行事カレンダー)

◆2022年11月

日程(曜日)	時間	内容	会場・方法
5日(土)	10:00~15:00	ばあとなあ新潟名簿登録研修(1日目)	ユニゾンプラザ
6日(日)	9:15~13:40	ばあとなあ新潟名簿登録研修(2日目)	ユニゾンプラザ
10日(木)	10:00~12:00	事務局会議	事務局
12日(土)	9:30~16:45	基礎研修Ⅱ⑧	zoom
18日(金)	14:00~16:00	総合企画会議	事務局
23日(水)	13:00~16:00	今さら聞けないひきこもり支援のこと(再々延期分)	ユニゾンプラザ
25日(金)	10:00~12:00	理事会	ユニゾンプラザ及びzoom
26日(土)	9:30~16:30	基礎研修Ⅲ⑦	zoom
27日(日)	9:00~12:00	基礎研修Ⅲ⑧	zoom
27日(日)	9:15~16:45	社会福祉士国家試験受験対策講座⑤	ユニゾンプラザ及びzoom

◆2022年12月

日程(曜日)	時間	内容	会場・方法
8日(木)	10:00~12:00	事務局会議	事務局
10日(土)	9:30~16:30	基礎研修Ⅱ⑨	zoom
	9:00~16:50	障害者の生活支援研修(認証研修)・1日目	ユニゾンプラザ
11日(日)	9:00~12:00	基礎研修Ⅱ⑩	Zoom
	9:00~16:45	障害者の生活支援研修(認証研修)・2日目	ユニゾンプラザ
15日(木)	14:00~16:00	総合企画会議	事務局
17日(土)	9:30~16:45	基礎研修Ⅲ⑨	zoom
29日(木)~2023年1月3日(火)		事務局年末年始休業	

編集後記

動画配信サービスの契約をしていて、時間のある時に映画やドラマなど楽しんだりしています。最近は犬が題材のアメリカ映画で感動しすぎて号泣。犬があまりにも健気で愛おしくて、機会があったらもう一度観たい…。

インターネットをリビングのテレビに繋げており小学2年生の娘と一緒に観る事がほとんどなのですが、娘のリクエストで観た”ちいかわ”アニメ(最近チャルメラのCMで本田翼さんと出ているキャラクターです)は、ほっこり癒される可愛さで私までハマっています。

海外ドラマも選び放題だし、『つづきから見る』機能など自由自在なので、長時間モノの映画でも合間時間に分けて観ることが出来るし、いろいろ便利!! おススメの映画があったらぜひ教えてください(さ)

